

令和8年度予算総括質疑の概要

令和8年第1回二宮町議会定例会

日時 令和8年3月3日(火) 午前9時30分より

No.	質問議員	質問の概要(本人の提出原稿)
1	大沼 英樹 議員	<p>1. 重点方針1: 公共施設の利便性、機能性を高めるまちづくり 令和8年度以降は、新庁舎35億円、ラヂアン17億円という、長期償還を伴う恒常的負担が発生します。 ここで伺います。</p> <p>① 庁舎およびラヂアン関連事業による今後10年間の公債費総額見込み。 ② 実質公債費比率および将来負担比率への影響試算。 ③ 自主財源に対する公債費の許容上限を町としてどの水準と考えているのか。</p> <p>また、雨水貯留タンク補助事業について。 長期耐用年数、廃棄時の環境負荷、事業効果の検証指標は何か。 補助制度の妥当性をどのように担保しているのか答弁を求めます。</p> <p>2. 重点方針2: 子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育のまちづくり 令和8年度予算案および施政方針において、「こどもがまんなか」との理念が掲げられています。しかし現実には、昭和35年竣工、築66年を迎える校舎を継続して使用しつつ、老朽箇所は修繕対応とし、体育館空調整備も具体的工程が示されていない一方で、新庁舎整備約35億円、ラヂアン改修約17億円という大型事業が先行しています。 ここで伺います。</p> <p>① 校舎建替えと修繕継続の費用比較および安全性評価は数値でどう分析されたのか。 ② 子どもの学習・安全環境整備より庁舎整備を優先した合理的根拠は何か。 ③ 「こども最優先」という理念と投資配分の整合性をどの指標で担保しているのか。</p> <p>また、子ども条例について。 16名の意見聴取で条例制定に向け政策形成を行うにあたり、抽出方法の妥当性、網羅性の検証は行われたのか。条例の効果測定指標(KPI)は何か。明確に示してください。</p> <p>3. 重点方針3: 気候変動対策による持続可能なまちづくり 令和6年水害時、警戒発令まで時間を要しました。</p> <p>① 初動対応の検証結果はどう整理されたのか。 ② マニュアル改訂や改善措置は具体的に何を実施したのか。 さらに、令和8年4月改正予定のがけ条例規制強化に関し、</p> <p>① レッドゾーン周辺住宅の資産価値影響を町は試算しているか。 ② 住民財産保全のための支援策は検討しているか。 ③ 庁舎予定地周辺の地盤・規制リスク評価をどのように行ったのか。</p> <p>4. 重点方針4: 誰もが自分らしく安全・安心に暮らせるまちづくり 総務建設経済常任委員会から正式な面会要請に応じなかった経緯について、町長の判断が関与しているのか明確にしてください。</p>

		<p>二元代表制において議会との対話をどう位置付けているのか見解を伺います。</p> <p>5. 重点方針5：活力があふれる、選ばれるまちづくり 重点方針4を含みますが、一色など山を背負う地区を頻回する有害獣（特にイノシシ）は生活圏の安全に直結しています。</p> <p>① 出没件数の推移と駆除実績の数値。 ② 抜本的対策の中長期計画。 ③ 生活圏防護をどの水準まで確保する目標なのか。 町としての優先順位を明確にしてください。</p>
2	一石 洋子 議員	<p>世界に法の支配を揺るがす暴力・戦争が起こる中、日本では衆院選が終わり、かつてない女性総理大臣誕生に期待する民意が表現された。じりじりと追い詰められ、希望が見えない多くの国民の不安を背景に「強い国を」と豪語する牽引力の高いリーダーを求める様相、北欧の優れた福祉国家である先進国が一様に軍事費増強に向かうフェーズに多くの良識ある住民は危機感を抱いている。</p> <p>日本が輩出してきた女性リーダーはむしろ第2次世界大戦の大量の死者を前に懺悔と破壊された都市の瓦礫、廃墟の中にうまれた国際協力機関、国連の高等弁務官の緒方貞子氏、事務次長・軍縮担当上級代表中満泉氏や上岡恵子国際労働機関駐日代表、国際刑事裁判所関根智子所長などが知られている。平和憲法を持つ日本の役割は世界の期待するところである。日本の女性首相はいかなる人権思想をもって平和国家の揺りかごをもたらすか。手をこまねくことなく各自治体は施策のフロントとして果敢に働くことが求められる。</p> <p>実際に施政方針の結びに村田町長は「当たり前をまっさらな目で見つめなおし、勇気をもって新しくしていく」ことを謡い「スピード感をもって社会の変化に寄り添う」ことの大切さを訴えている。さらに例年以上に町民パワーを強調している。</p> <p>ここまでの東大果樹園跡地のシンボル事業から気候市民会議や、子どもの権利条例制定に向けたファシリテーター養成など、まさに行政職員と町民との協働の仕組みを新しくリノベーションする布石となってきたと思われる。法人化する団体も増えた。</p> <p>新庁舎建設は二宮町行政が持続する誇りと意欲を表すもの。小さな町規模の顔の見える信頼関係を生かす、行政のカウンターパートを育て、町外にも応援者や受援者をつくる、小さいながら存在感と作戦の光る町を目指したいところだ。</p> <p>以下、重点方針テーマごとに質問する。</p> <p>○子どもの笑顔がかがやく子育てと教育のまちづくり ①国連で採択された子どもの権利条約を批准した日本が30年たってやっと管轄省庁と法律を整備したこの状況を如何に前に進めるか。あるいは二宮町がいかなる役割を果たすか。本年度の自治体の取り組みの重要性は喫緊の様相を持つ。</p> <p>子どもの権利を町の約束にする条例化は歓迎するがやるべきことはすべて大人の問題だ。 行政職員も含めた大人たちが学び研究する機関や機会が必要ではな</p>

いか。

②国は保育体制の補完の施策に追われ少子化対策は一向に功を奏しない。

「生まれる前から赤ちゃんは目も見え、耳も聞こえる」という二宮町制 90 周年記念こどもまんなかパネルディスカッションでの助産師の発言は重要だった。フロントの自治体こそが何が本質的な問題なのか痛いほど感じているのではないか。

産前産後ケアは赤ちゃんのお母さんの心と体に注力する重要な事業だがレスパイト以上の具体のまさに作業療法的なアクションが必要で先の議会で紹介した先進地飛騨市は広く講座を開催し非常に注目されている。

予算説明に保育園、幼稚園の巡回相談に作業療法士を加え、小学校にも参加とある。

飛騨市学校内作業療法室に学ぶものなのか確認したい。

さらに特に超早期が効果的だ。赤ちゃんとおかあさんのために、今すぐに行ける先進の学びを取り入れるべきだ。一日一日が勝負の子どもたちの「様子見」という放置状態を防ぎ、今すぐに行ける施策の研鑽が必要だが危機感をもって飛騨市の施策を研修する人材を育てるなどしないのか。

③不登校対策としてフリースクール助成予算、また安らぎの教室など、文科省、子ども大綱が表す子どもの居場所に注力する予算項目がある。

しかしながら受援者の見込みの想定は低い。教育福祉常任委員会の提言した二宮学園の一環として文科省が用意した「学びの多様化学校」の分校型設置やこれまで私が求めてきた部活動の種類の増や地域協力の推進は不登校の子どもたち、また増え続けるひきこもりの若者たちのセーフティネットにつながる学校教育の硬直した構造に風を入れる施策だ。勇気をもって当たり前を手放し新しく作る「アンラーン」こそ教育施策に必要だ。町長はこれを推進しないのか。

④学びの充実・学びを支える基盤について二宮学園の特色が弱いと感じる。二宮学園とはといわれ打ち出せる内容は英語教育なのか、この世界状況に人生や社会をきりひらく力をはぐくむ教育について学校が世界や社会と接点を持ち、多様なつながりを持つことが求められることは文科省の明言を待つまでもない。二宮の特色である、環境や人権にかかる取り組みを協働する住民団体はこれを強く求めている。町が取り組む世界課題に学校教育がしっかりと連携していない状況は遺憾である。タブレットの更新よりも体に接地する実学にしっかりと取り組む重要性をいかにとらえるか。

- 公共施設の利便性、機能性を高めるまちづくり
- 気候変動対策による持続可能なまちづくり
- 誰もが自分らしく安心、安全に暮らせるまちづくり

①役場新庁舎北棟建設着手、ラディアン改修、さらに南棟設計は職員、町民のウェルビーイングと防災上の安心安全な拠点としてさらにラディアン周辺ランドスケープに集中するまちの政策拠点づくりとしての一大計画の着実な推進であり歓迎する。

環境、福祉に資する効果を最終的に確認したい。さらに気候市民会議提言を取り入れた脱炭素区域施策編の体現に流域治水、生物多様性の

		<p>循環、さらには福祉にも資する効果的な動きを起こす協働のチームが必要と思われる。どのような作戦が考えられるか。</p> <p>②ラディアン改修による閉鎖期間の代替についてこれを機に子どもから大人までが地域集会施設等を活用したウエルビーイングに資する居場所づくりを推進し、地域福祉、自治の新しいステークホルダー発掘や社交の向上に資する作戦を立てたいがいかがか。</p> <p>③障がい者福祉として社会福祉協議会が運営している「ともしびショップなのはな」は重要なインクルーシブの拠点となる資源だ。これを機にかかわる住民のすそ野を広げ、土日も開店するまちの食のある居場所としてラディアンとも連携する住民のウエルビーイングに資する施設としたいが構想はいかがか。</p> <p>④公共施設総合管理計画に統合改定される中身に東大果樹園跡地の活用が重要な創発的テーマになると思われる。権利条例の体現施策、こどもまんなかの象徴的な施設とするために、社会課題を大きく俯瞰した長期にわたる効果を見渡し、重点的方針のすべてに資するシンボル事業に育てなければならない。それこそガバメントクラウドファンディングの一丁目一番地のこの町のチャレンジを見せるものであるはず。本格的な青写真に協働で令和8年度中に取り掛かるべきではないか。</p>
3	渡辺 訓任 議員	<p>令和8年度一般会計予算案は、昨年に比べ4億6,500万円。新庁舎建設も始まり、4.6%増額されることとなった。一般財源は2億5500万円の増で、国庫支出金1億7,700万円、町債発行を1億3,300万円増やしている。</p> <p>昨年度は「こどもまんなか元年」とされ、今年度も引き続き「こどもまんなか」を強調、「声をつなぎ 未来を創る 一緒に築く安心のまちへ」と、町民との対話を形にしていく・実現していくことをうたっている。いよいよ、新庁舎の建設工事に着手するが、施政方針でもうたわれるように、社会保障・物価対策に加えて、教育・防災などの課題にとりくむかが問われる予算案と考える。</p> <p>施政方針でうたわれている重点的方針に沿って問う。</p> <p><基本方針・総論></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こどもまんなか」に関連して、「こどもの権利条例」制定について、ひとりひとりの子どもの尊重と声を町政に反映する取り組みが民主主義の根幹であるとされている。具体的にどのようなとりくみを進めるのか。 ・状況の認識として、大型事業の進行の中「財政運営も一層困難さを増している」と、昨年よりも一歩踏み込んだ表現になっている。「財源の重点化と効率化」「将来を見据えた持続可能な財政運営を実現する覚悟」とは具体的に何か。 <p><公共施設の利便性・機能性を高めるまちづくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公共施設等総合管理計画」とはどのようなものか。 <p><子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育のまちづくり></p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年は、不登校対策がうたわれていたが、今年は、不登校、いじめという言葉が見当たらないがなぜか。また、昨年同様「施設一体型小中一貫教育校の設置」に触れていないが、施設一体型小中一貫教育校の設置はいったん棚上げとするのか。 <気候変動対策による持続可能なまちづくり> ・ 気候変動対策に関しては、温暖化ガス排出抑制計画の区域施策編が策定され、削減目標を2030年に基準年の50%にするとされた。この達成状況と、見通しはいかがか。 <新しい時代に向けて、しなやかに対応するまちづくり> ・ 計画を支える土台として「組織力強化」「財政基盤の強化」「多様な主体との連携」という行政改革をすすめるかとされている。これらのとりくみは、具体的にはどのようなことなのか。 <活力があふれる、選ばれるまちづくり> ・ ねらいとして「安心を支える地域経済の土台を強くする」とうたわれているが、地域経済とは何を指しているのか。
4	羽根 かほる 議員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公共施設の利便性、機能性を高めるまちづくり <ol style="list-style-type: none"> ①冒頭の基本方針の中で、役場新庁舎、ラディアンの大規模改修が公共施設の更新にとどまらず、未来の二宮町を描くための基盤を築き、つながりを編み直すとするがここで初めて示された町の方向性。どのような意図か。 ②新庁舎整備と一体的に計画をしていた「福社会館」の建設、「駅前複合施設」は予定通り進めていくのか。 ③公共施設再配置・町有地有効活用実施計画を「公共施設等総合管理計画」に統合・改定するとあるが、この意図と効果は。 ④今後の公共施設の廃止、継続の判断基準はどこか。 2. 子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育のまちづくり <ol style="list-style-type: none"> ①施設分離型小中一貫教育校「にのみや学園」の歩みをさらに進めるとあるが、施設一体型小中一貫教育とはならないのか。施設分離で進める根拠は。 ②小学校の給食費完全無償化の財源確保策は。 ③二宮中学校の外壁改修をもって早急な対応は一区切りしたとあるが、5校の学校施設の老朽化は進んでいる。今後どのような対応をしていくのか。 ④冒頭の基本方針の中で、中心理念の「こどもまんなか」が大人にも高齢者にも優しく、すべての人が暮らしやすいまちになるとあるが、具体的な事象にはどのようなものがあるか。 ⑤学校体育館のエアコンは「将来的な設置」となっているが、早急に対応しない理由は。また、大地震発生時に避難所となる体育館は近年の酷暑では使用ができない。有事の対応策は。 ⑥2025年3月に策定した「二宮町こども計画」において、「子育ての環境や支援への満足度」に関するアンケート調査結果、「不満足の原因」に「子育て支援が充実していない」との回答が60%を超えている。この現状をどのように捉え、どう対策を講じていくのか。 3. 気候変動対策による持続可能なまちづくり <ol style="list-style-type: none"> ①市町と県が一体となった「流域治水」の具体的方法と進め方は。

4. 誰もが自分らしく安全・安心に暮らせるまちづくり

- ①40歳未満の末期がん患者の方を対象とした「在宅療養生活の支援」を実施することとなった経緯とその意図は。
- ②町内を巡回する移動販売が実施可能となった経緯とその詳細は。
- ③障害のある方の支援は外出支援が中心となっている。外出困難な障がいのある方は取り残されてしまうのではないかと。だれひとり取り残さない町としてどのように支援し、どう支えていくのか。
- ④コミュニティバスのルートや運行形態の再編とあるが、バスの大きさや委託事業者についても再検討するということか。また、近隣自治体では自動運転バスの実証実験を行っており、当町と同規模の町ではすでに自動運転バスの運行も行っている。今後の展開は。
- ⑤災害への備えについては自助、共助を推進している。防災指導員の研修は行っているが、他の自治体では、「防災士」の資格取得補助も行っている。指導員研修の受講者だけでも取得の補助を行い、地域の防災力を高めてはどうか。

5. 活力があふれる、選ばれるまちづくり

- ①地域経済を築いていくためのビジネスへの支援はどのように行っていくのか。
- ②令和8年度ふるさと納税の目標納税額は。
- ③「二宮町高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画 令和6(2024)年度～令和8(2026)年度」において、将来人口の推計では、総人口は今後も減少を続けると予測しており、2025年の高齢化率は36.3%、2040年の高齢化率は上昇し45.7%になると見込んでいる。いずれも全国の高齢化率29.3%(内閣府, 2025)より大幅な上昇率となっている。社会増の傾向ではあるが、町全体では人口減少、高齢化率も上昇している。町全体の人口の増減に対して、移住定住と関係人口も含めて、どのような対策を講じていくのか。

6. 新しい時代に向けて、しなやかに対応するまちづくり

- ①組織力、財政基盤の強化、多様な主体との連携を柱とする行政改革とは、具体的にどのように実施していくのか。
- ②組織力の点について、公務員への希望者が減少する中、どのような方策で人員確保と職員の育成を行っていくのか。
- ③ガバメントクラウドファンディングはPR動画以外の他、今後どのように展開する予定か。
- ④内部統制制度や、職員の法令順守の強化は。
- ⑤冒頭の基本方針において財政運営は一層困難さを増し、補助金や地方債の効果的な活用を行うとあるが、その具体的な方法は。また、今後の財政見通しであるが、令和6年度の決算書の説明によると、「老朽化した公共施設の改修・更新費用の増のほか、社会保障関係費の増大への対応が必要」とし、今後の関係諸経費の増大を見越した対応の必要性を認識している。また、財政力指数は令和2年度から0.734%から年度ごとに下がり続け令和6年度は0.621%。地方債の金利上昇も視野に入れると、補助金や地方債の効果的な活用だけでは住民サービスの質の向上や、教育、福祉の充実ができないのではないかと考えるがどうか。

備考：2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。
本人の通告書の原稿を転記したものです。